

# ふあみいゆだより

第30号

社会福祉法人瑞穂会  
ふあみいゆ行田  
行田市大字下須戸75番地  
TEL 048-559-4165  
ふあみいゆ東館  
行田市大字下須戸65番地1  
TEL 048-559-5561  
令和2年12月発行  
発行責任者 藤井尚子  
<http://famille-gyoda.com/>

## 笑顔をつなぐ 命をつなぐ 地域をつなぐ 瑞穂会



ふあみいゆ行田 施設長 藤井尚子

社会福祉法人瑞穂会は、太田保育園、ふあみいゆ行田、ふあみいゆ東館の三施設を運営する法人です。今年度、ホームページをリニューアルするのに先立ち、三施設に共通するキャッチコピーを全職員から募集したところ、67件の明るく、優しく、温もりのあるフレーズが寄せられ、職員の投票により選考することにしました。その結果、「地域をつなぐ 命をつなぐ 笑顔をつなぐ 瑞穂会」（太田保育園 森江雅美さん）の得票数が最も高く、瑞穂会の運営の理念を大局的にとらえており三施設を結ぶ瑞穂会のスローガンとして相応しいことから理事長賞に決まりました。また「思いやりの心で みんなを笑顔に あなたに寄り添う 瑞穂会」（伊藤久美子さん）と「子らを光に 老いを輝きに 支えることを喜びに」（藤井尚子）が次点に選ばれました。また、応募作品を見ると、ふあみいゆ行田・東館をイメージしたものが多数ありましたので、理事長賞とは別に、「ぬくもりと 安らぎにあふれた もう一つの我が家が ここにある」（廣澤勇文さん）を選びふあみいゆ賞を贈ることにしました。これらの作品は、職員が考え職員が選んだという点で価値あるキャッチコピーであり、誇れるスローガンであると思います。ホームページを始め、いろいろなところで使用させていただくこととなりますが、三施設の職員が日々心にとどめ大切に育てていって欲しいと思います。

なお、理事長賞の扱いに際しては、「笑顔をつなぐ 命をつなぐ 地域をつなぐ 瑞穂会」として使用することにします。



施設の庭を彩るみかん

## 地域包括支援センター

10月1日から担当地区が変わりました

**新** 太田地区  
埼玉地区  
佐間地区  
の一部



**旧** 太田地区  
埼玉地区  
忍地区  
の一部

忍地区の皆様、民生委員さん、相談協力員さんにも様々なご協力をいただきました。大変、感謝しております。これまで、ありがとうございました。この度、新しく佐間地区の一部、大町・一佐間・二佐間・神明・三間を担当させていただくことになりました。お気軽にご相談ください。民生委員さん、相談協力員さんには、地域のことをいろいろ教えていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。太田地区・埼玉地区の皆様には、引き続きよろしくお願いいたします。

地域包括支援センターふあみいゆ  
管理者兼保健師 小沢めぐみ

## ふあみいゆケアプランセンター

専門性を活かした支援



ふあみいゆケアプランセンターには介護福祉士、看護師、社会福祉士といった基礎資格を持った職員が在籍しており、利用者様からの様々な相談に対してそれぞ

れの専門性を活かして支援を行っています。また、その専門性を更に高めるために、新たな資格を取得できるよう頑張っている職員もおります。今後も、各々の自己研鑽を進めるとともに、改定情報を含めた介護保険制度を理解した上で、利用者様のより良い生活の支援を目指して参りたいと考えています。

ふあみいゆケアプランセンター 大塚しのぶ

## ふあみいゆ敬老会



行田市長 石井直彦様のご祝辞（ビデオレター）

9月19日（土）は新型コロナウイルス拡大防止のために、それぞれの場所で分散して敬老会を開催しました。

今年の賀寿の方は、

ふあみいゆ行田	ふあみいゆ東館
古希1名 傘寿2名	米寿1名
米寿5名 卒寿3名	卒寿4名
白寿2名 百寿1名	
上寿3名 最高齢は104歳でした。	

密を避けるためにご来賓の参加はなく、代わりに行田市長 石井直彦様のご祝辞

と理事長の挨拶をビデオレターで頂きました。また、賀寿の家族様に参加いただきましたが、ご家族の皆様からお祝いの言葉を直接いただくことができ良かったです。職員からのメッセージと利用者様の日ごろの様子をプロジェクターで紹介し、施設長からお一人おひとりに褒賞状と記念品が贈呈されました。最後は利用者様と家族様で記念撮影を行い、和やかで笑顔があふれる敬老会になりました。

お食事は栄養課手作りの折詰め弁当で、「秋らしくて美味しい」と利用者様の笑顔が止まりませんでした。

今後もふあみいゆの理念「生きていて本当によかった」と感じて頂ける様、支援をさせていただきたいと思っております。

敬老会実行委員長 泉田浩子



本間さく様（104歳）

## ふあみいゆ秋祭り



10月23日、ふあみいゆ秋祭りを開催致しました。

今年は新型コロナウイルスの影響もあり、利用者様の家族様、来賓の皆様、ボランティアの方々の出席をご遠慮いただき規模を縮小して開催致しました。また、会場を分散し、二部制にする等して、密を避けるよう配慮致しました。秋祭り実行委員で募ったスローガンは「離れていても会えなくても心は一緒 ふあみいゆ秋祭り」に決まりました。開会式はリモートで行い、映像を各会場に配信しました。それぞれの会場では職員によるゲームや出し物で大変盛り上がりしました。最後は特別ゲストのシンガーソングライター「友近890（やっくん）」のスタ

ジオとオンラインで繋ぎ、各会場で生ライブの歌やトークをお楽しみいただきました。

今回の秋祭りはコロナ禍ということで縮小しての開催でしたが、「久しぶりに楽しかったよ！」と利用者様に笑顔で言っていました。来年は新型コロナウイルスがどこまで収束するか分かりませんが、職員一同一丸となり、利用者様に喜んで頂けるよう秋祭りを開催できればと思っております。

秋祭り実行委員長 大平雅滉



ペープサートでじゃんけん大会



金髪美人？からプレゼントを受け取る利用者様



友近やっくんのオンラインコンサート

## ふぁみいゆ行田の暮らし

**敬老会・秋祭りを終えて** 9月の敬老会、10月の秋まつりでは、イベントに合わせた食事サービスを工夫しました。



敬老会ではお弁当で、ごはんをお赤飯にし、お祝いになんだ献立にしました。



秋まつりではお祭りらしい食事を提供し、ごはんはちらし寿司で彩りよく、利用者様が一目見て笑顔になれる、そんな盛り付けにしました。

「おいしい、おいしい」とうなずきながら食事する利用者様を見て、がんばったかいがあったなと思いました。栄養課 調理師 林 優季菜

### 手打ちうどん



9月24日、まんさくユニットでは手打ちうどんを作りました。利用者様にも、うどんの生地踏みや天ぶらの食材の下ごしらえなどでご協力

いただき、本格的な手打ちうどんが完成いたしました。出来上がったうどんを前に、「昔はよく作ったもんだよ」「美味しいね」と会話も弾み、とても賑やかなお食事となりました。

まんさくユニット 介護職員 松本 聡子

### ベランダで日光浴



さくらユニットはふぁみいゆの中でも1番太陽の日差しが当たり、風も通り気持ちがいいユニットです。

利用者様は太陽

が出ているとベランダにでて日向ぼっこをしています。ベランダには職員が大事に育てている植物もきれいに咲いています。「日光浴しよう」と声をかけあって日光浴をしています。外は風が冷たい季節にはなりますが、窓際で日光浴をこれからも楽しみたいと思います。

さくらユニット 介護職員 井上 翔子

### お誕生会

9月20日、こすもすユニットでは今月お誕生日を迎えられた4名の利用者様の合同お誕生会を開きました。

用意した地元名物いがまんじゅうとリンゴを召し上がりながら、ハッピーバースデーを合唱。利用者様同士「おめでとう」「いくつになったの?」と声を掛け合っ



いらっしゃる姿が印象的でした。中には感極まり涙を流された方もいて、思い出に残る一日となりました。みなさま、お誕生日おめでとうございます！

こすもすユニット 介護職員 矢内 美奈

### 秋日和に散歩

秋めいた暖かい日に庭を散歩しました。



黄金色の稲田と花々をみて「すっかり秋だね」と季節を感じ、外の空気を吸って、よい気分転換となりました。

ききょうユニット 介護職員 服部 絵美

### みかん狩り

ここ1年ベッド上での生活が長かったA様。そんなA様の切なる希望が、『自宅へ外出する事』。8月には短い時間ではありましたが、ご家族との思い出が詰まった自宅へ外出することができました。



11月に入って、A様と今回はふぁみいゆ行田の園庭にて『みかん狩り』を行いました。これまでは言葉数も少なかったA様が、みかんを手に取り、「トゲがあるから気をつけな!」「家にもみかんが植わっているよ!」などと、たくさんお話をしてくれました。

これからも、A様らしい生活が送れるようにご支援させていただきたいと、強く感じた1日でした。

施設ケアマネージャー 喜多村 美紀

## ふぁみいゆ東館だより

### 何処で最期を迎えたいですか？

ふぁみいゆ東館 館長 野口清美



今年の「新型コロナウイルス感染拡大」を予見した人がいたでしょうか。治療薬やワクチン開発の未達の状態でいつまでこの生活が続くのでしょうか。

最大限の感染症予防対策を講じる中で、利用者様や家族様には大変ご不便をおかけしておりますが、利用者様の平穏な暮らしを守ることが出来ていることに心から感謝申し上げます。

さて、東館では「地域包括ケアシステム」の一環として、小規模多機能型居宅介護「ふぁみいゆ小東風」で初めて看取り介護を実施させていただきました。ふぁみいゆ小東風を利用しながら、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けた利用者様が、家族様、仲の良い利用者様、職員等に見守られ、夫の傍らで安らかに旅立たれました。

今後も、地域密着型施設として利用者様の声を伺いながら「高齢者の望む暮らしの実現」を目指し、同時にスタッフがやりがいを持って働き続けられる職場環境作りに力を入れていきたいと思っております。



看取り勉強会の様子

## ふぁみいゆ訪問介護

### ふぁみいゆ訪問介護のご案内

サービス提供責任者 中島 順一



ふぁみいゆ訪問介護を利用して、在宅で生活されている方が大勢いらっしゃいます。「入浴介助、デイサービスへの送り出し、掃除、買い物、料理など ちょっとした援助があれば自宅でいつまでも暮らせるのになあ」と思っておられる方、ふぁみいゆ訪問介護をご利用ください。

### 訪問介護の仕事に誇りと喜びを感じて…

#### A様の介護に伺って

「要介護3」のA様宅に入浴介助に伺っています。手足が思うように動かないという難病をお持ちです。介助によって湯船に入ることが出来ますが、お風呂に浸かると「あー良い気持ちー」と喜んでくださいます。入浴介助のお手伝いをしながら、ご主人との仲睦まじい暮らしがいつまでも続きますようにと祈っております。

#### B様の介護に伺って

一年ほど前からデイサービスへの送り出しに伺っています。息子様ご夫婦は車で30分位離れた街にお住まいです。とても親御さん思いで同居を勧めて下さっていますが、B様は住み慣れた家、馴染んだ人間関係から離れられず一人住まいをなさっています。食料や日用品の買い物等は息子様が援助して下さいます。訪問介護、デイサービス、息子様の援助により、B様の一人暮らしは成り立っています。

A様も、B様も訪問を重ねるごとに笑顔で迎えて下さることが増えましたことが何よりの喜びです。住み慣れたご自宅で、いつまでも生活したいと思う気持ちは、万人の共通した望みだと思います。

その生活の一翼を担っている訪問の仕事に誇りと喜びを感じます。利用者様が住み慣れた環境の中で、明るく生き生きと笑顔で過ごされますよう、その日、その時の利用者様に寄り添い、利用者様の望まれるサービスが提供できますように努めてまいります。

訪問介護職員 田嶋ひとみ

私たちが訪問に伺います！



介護経験 10年  
田嶋ひとみ



介護経験 15年  
柿沼麻紀子



介護経験 20年  
島崎かね子

★お問い合わせ★ ふぁみいゆ訪問介護 048-559-4160

## ふぁみいゆ東館の暮らし

### 敬老会



理事長あいさつ (ビデオレター)

9月19日(土)、東館で敬老会が行われました。今年はめでたく長寿を迎えられた米寿1名、卒寿4名様に館長よりお祝いの言葉と褒賞状が送られました。健やかに今日の日を迎えられ心よりお喜び申し上げます。これからも元気で笑顔の多い毎日をお過ごし頂けるよう私達も全力でサポートしてまいります。

東館 生活相談員 長谷川亨至



館長からのあいさつ

### 秋祭り

今年の秋祭りはコロナ禍ということで家族様不在の中で行いました。



利用者様と職員による屋台

午前は職員の昔の写真当てゲーム、昼食には昔作っていた利用者様に焼きそばとフライを作って頂きました。午後は3つの出し物を行い、たくさんの笑いに包まれました。利用者様にはご自身の手形のミニ旗、職員も大旗に手形を押し、思い出の残る作品が出来ました。

東館 介護職員 安田千夏



職員によるソーラン節

## ふぁみいゆ小東風の暮らし

### 小東風での看取り

「小東風で最期を迎えたい」という利用者様の声にお応えし、看取り介護を行えるように体制を整えました。



T様は病気を患い、かかりつけ医や家族、ケアマネジャーと相談し小東風で看取る方向となりました。職員は看取りの方針や過程を理解し、居室には家族の写真や花を飾り、夫婦での時間を大切にし、感染症予防対策を徹底して家族も面会が出来るように配慮しました。

仲の良い利用者様が部屋を訪れ、髪をとかしたり、一緒にお茶を飲んだり、職員も交えていつも笑いの絶えない明るいお部屋でした。朝、部屋を訪ねるとご主人が手を握り昔話をされていた姿が今でも思い出されます。

小東風 介護主任 島崎かね子

### 看取り研修

看取り研修の一環として、東松山シャローム病院堀之内チャレン氏をお招きし「死生観教育」を学びました。



ホスピスケア(緩和ケア)に長年携わり、たくさんの患者と関わった貴重なお話の中で、「自分がして欲しいと思うことを他人にしてあげなさい」、先生の一言は、日常でもケアに当たる上で大切な心構えであると感じました。

小東風 介護職員 手塚達也

**フライのエンドウ** ふぁみいゆ小東風の行事と言えば利用者様(遠藤静江さん)の「フライ屋」です。小東風の利用者様のみならず、特養の利用者様、職員一同、毎回楽しみにしています。今回も秋祭りのために前日から食材の買い出し、下ごしらえし当日は朝10時から、疲れた様子もなく、14時までフライを焼いてくださいました。味は絶品。皆さんに喜んでいただきました。来年は皆さまも是非お越しの上ご賞味ください。

小東風ケアマネジャー 木村貴則



## ふぁみいゆデイサービスの暮らし

### 秋祭り大運動会



10月23日デイサービスでは秋祭り大運動会を開催しました。開会宣言の後、競技にうつりました。新聞紙を丸めたボールを段ボールの箱に開けた穴から足で掻き出します。箱からでてきたボールをもう一人がホウキと塵取りで回収します。早く回収できた方が勝ちです。

楽しみながら生活リハビリを行いました。

介護リーダー 荒木留美子

### お家リハビリ



デイサービスではコロナ感染対策で利用時間が短縮となり、ご自宅で過ごされる時間が増えたため、リハビリの一環として自宅で出来る「お家リハビリ」を始めました。脳トレプリント（計算、言葉探し、ことわざ、クイズ等）、体操、早口言葉などを行っています。

利用者様からは「面白い」「楽しいよ」「今日のは難しかったよ」等、様々な感想を頂いています。これからも お家での時間を楽しく過ごして頂きたいと思っています。

デイ看護師 曾根佐枝

### デイサービス生活相談員に就任して

生活相談員 柳川 武



1月より特養よりデイサービスへ異動となりました柳川武です。今まで介護職として20年程経ちますが、デイサービスの経験はなく初めてのことが多く、不安や戸惑いもありますが、何もかも新鮮で覚えることも多く初心に戻り励んでおります。8月からは相談員業務を引き継ぎ、多忙な毎日を送っています。今年は新型コロナウイルスという誰もが予想していなかった感染症に世界中が混乱しております。我々介護職も感染予防対策に最善を尽くしております。これからも様々な壁が目の前にそびえ立つことと思われませんが、仲間と共に乗り越えていきたいと思っております。

## 委員会活動紹介

### 地域活動委員会

委員長 大塚しのぶ



私達は、利用者様の暮らしや介護の魅力等を発信することにより、地域の皆さまに施設への理解を深めていただくことを目的に活動しております。

具体的には、年2回のふぁみいゆだよりの発行、ふぁみいゆホームページのブログでは日々の暮らしがより身近に感じられよう現場で働く職員が記事を更新しています。最近では、フェイスブックを通じ介護職の魅力を発信し共感をいただいています。

今後も、人と地域と法人を繋ぐツールとして、是非、ふぁみいゆだよりやホームページ、フェイスブック等を通して私たちの活動をご覧いただきたいと思っております。

### 個別ケア委員会

個別ケア推進委員長 長谷川 稜人

～個別ケアの基礎作り～



本年度より発足した本委員会では、個別ケアの向上へ向けて取り組んでいます。初年度でもあり、個別ケアを実施、推進して

ていくにあたっての基礎作りが中心となっています。

内容は、基本的ケアの推進、事例検討会、研修による知識向上を行っています。看護師やケアマネージャーとの意見交換があり、新たな視点を獲得することができます。次年度以降には、本館・東館共に「個別ケアが実践できる施設」に向け取り組んでいきたいと思っております。皆様のご協力と応援をよろしくお願い致します。

### 排泄委員会

排泄委員会委員長 星 正義

排泄委員会は、軸として2つのことに取り組んでおります。1つ目は、オムツ・パッドメーカーの光洋様主催の「排泄マイスター」の取得です。排泄マイスターとは、排泄に関する知識・技術の向上に向け、研修を通して、排泄ケアのプロを目指すものです。

2つ目は、オムツ・パッドの管理です。利用者様に合った適切なオムツやパッドの使用が出来ているかをチェックし、無駄を省いてコスト削減に努め、在庫や置き場を見直して、過剰在庫にならないようにして工夫しております。



# ふあみいゆ文芸

## 俳句



花一輪咲いてにっこり秋の月

秋山順三

夢に見しかき氷祭りの夜実現す

藤田たい子

稲刈りのコンバインの音聞こえくる

藤間豊美

みかん見ゆデイの窓に鳥渡る

和賀澄子

散歩してみかん狩りするわたしかな

中里光子

ファミーユの庭の植木が冬を待つ

豊田厚子

まんさくのテーブルに

シクラメンの花飾る

小河原さき

まんさくで折り紙を折るもみじかな

武藤八重子

見せたいな路地裏隅に薔薇二輪

井佐友勝



冬瓜を食いてほのかに水ぶくれ

松井隆

成人の孫に守られ秋の旅

松井美枝子

木漏れ日のピアノ教室小鳥来る

柴崎泰治

艶めきて人待ら顔の秋なすじ

小嶋悦雄

虫の音にふと誘われて足を止め

斉藤輝子

秋晴れに背すじ伸ばしてウォーキング

平社伊津代

夕闇に足元照らす彼岸花

篠崎則子

## 短歌

山鳩や蝉のしぐれて我が庵の

想いめぐらす美しきふる里

関口千代子

二人してながめた月の十五夜も

腰伸ばしつつ施設の窓で

S・K

体寒く感じる朝もふあみいゆへ

来る日が楽しい待ちどおしい

高橋春江

わが庭にようやく実りし柿八個

あゝ鳥たらよ皆食べないで!

杉山嘉子

イチジクを食べし思い出故郷の

イチジクの木に友と登りて

杉田すみ

言葉出ず腕を掴んで意思伝え

望む住み家で天へと旅立つ

野口清美

とりたての免許証胸にわが孫は

爺婆乗せてGOTO秩父路

小嶋敏子

## 詩



田口アイ子

チエンチエンチエン

すずめのさえずり

カーカーカー

カラスの鳴き声

どこからともなく

キンモクセイの匂い

子どもの頃から親しんだ

変わらない朝です

でも変わりゆくものも…

十五夜花ススキ月見だんご

道ばたの草花や手作りの食べ物

今ではスーパーで買う時代に!

また、昔のように

自然とともに生きたいものです

これから寒い冬の到来

頑張りましょう!

と思う今日このごろです



## 地域交流館 サロン柿の木

### サロン活動を少しずつ再開しています

サロン柿の木 運営委員長 杉田すみ



周囲は稲刈りが済んで、やわらかな黄土色の田が広がり、日光の山々がすぐ近くに感じられます。サロンの活動はコロナ禍のため、カラオケやランチ会、子ども食堂等がまだ再開できず寂しくなっています。9月に入り小座布団作りを5～6人で始めてみました。裁断をする人、ミシンで縫う人、アイロンをかける人、綿を入れる人、飾り糸をつけて出来上がりです。出来上がった座布団は、東館利用者様の椅子布団の補充用です。

10月からは将棋と編み物を再開しました。「よー！しばらく」「しばらくだったねー」と明るい声が聞かれました。そんな中で5月から週1回続いている歌の時間を、東館特養の入所者様、ここ「小東風」の利用者様は楽しみにされています。サロンで歌ったり、ホールで歌ったり、時には東館の庭へ出て歌ったり、三密にならないように気を付けながらマスクを着けて歌っています。

ボランティアさんが、椅子や机の消毒をしっかりと行い、楽しい時間を過ごしていただけるように頑張っています。利用者様の表情は歌が終わっても和やかで、歌の力を感じます。

賑やかに明るく活気に満ちたサロンに戻るのはいつになるのでしょうか？

サロン柿の木に気兼ねなく皆さまが来られる日が早く来てほしいと願いつつ、また、皆さまにお会いできる日を楽しみにお待ちしております。



### サロン柿の木 活動の様子



ボランティアさんの  
小座布団づくり



将棋再開  
お仲間募集!!



楽しい歌の時間  
歌に振りをつけてリハビリ体操



セラピー犬チャック  
皆さまに可愛がられて8才半になりました。散歩に行きたいとき、リードを咬んで待っています。



人数を制限し二部制にして  
呼吸法体操・レッドコード体操が  
再開されました。



梅っ子農園の梅の枝からできた  
灰を焼き付けて作った淡い  
ベージュ色の「蚊やり」  
松井 美枝子様作

### 編み物を始めませんか？

編み物講師 黒川光子



サロン活動が開始された時から、月一度ですが編み物教室を行っています。参加して下さる方は、帽子などの小物を編んだり、ウェアなどの大物を編んだり、それぞれ自由に楽しんでおられます。「編み棒を持ったことがない」とおっしゃる

初心者の方から、「昔は出来たのにゴム編みの止め方を忘れちゃったの」と経験のある方まで様々です。

近頃は、ハンドメイドの人気の高まっています。場所を選ばず、一本の糸から作品を作ることが出来て、間違えてもほどいてやり直せる編み物。興味のある方、始めてみてはいかがでしょう？家で毛糸を眠らせている方、再開してみませんか？

### 編集後記

今年はコロナで始まり、とうとうコロナで終わる年となりました。

ふぁみいゆだよりは今年から地域活動委員会が関わることになりました。様々な制限を余儀なくされる暮らしの中で、人と人の繋がりをより愛おしく感じられる記事が多く寄せられたように思います。

間もなく明けようとしている令和3年が穏やかな年であることを願ってやみません。

次号は令和3年6月頃発行する予定です。

ふぁみいゆ行田 施設長 藤井尚子

